

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (ファッション・健康スポーツ・観光・フード・ビジネス・医療事務・情報) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。 なお、第3回・第4回授業では、フィールドごとに作業の順序が異なる。詳しくは授業で説明する。				
学習の成果 (学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(秋山)。コミュニケーション能力を伸ばす①(小竹ト)。(クラス別指導なし) 10/1			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす②(大熊)。 夏休みの課題【課題1～3】の回収(クラス別指導30分) 10/8			
第3回目	マイナビ登録と活用法:WEB登録・説明会等のエントリーの仕方(学生支援委員)。※作業順序にフィールド別交替あり。 (クラス別指導なし) 10/15			
第4回目	マイナビSPIの受験:SPI受験(学生支援委員45分)・クラス別指導(45分)。※作業順序にフィールド別交替あり。10/22			
第5回目	企業や様々な組織の理解(國分)。 (クラス別指導30分) 10/29			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方、2年生の就職活動体験談(伊藤・キャリア教育委員)。 (クラス別指導なし) 11/5			

第7回目	履歴書の書き方・面接試験の受け方、2年生の就職活動体験談。（古川・キャリア教育委員）。 【課題4】履歴書の下書き（クラス別指導なし）。11/12
第8回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会①。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （クラス別指導なし）11/19
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会②。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （クラス別指導なし）11/26
第10回目	業界研究；キャリア講演会①・②の討論会。【課題5】感想文レポート。 （クラス別指導90分：グループ討論50分、感想文作成40分）12/3
第11回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会③。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （クラス別指導なし）12/10
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会④。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （クラス別指導なし）12/17
第13回目	業界研究；キャリア講演会③・④の討論会。（クラス担任）【課題6】感想文レポート。 （クラス別指導90分：グループ討論50分、感想文作成40分）1/7
第14回目	小論文・作文対策（大室）。【課題7】担当教員が用意し、指示する。 （クラス別指導なし）1/14
第15回目	まとめ：今までの振り返りと今後に向けて・春休みの課題（学長・秋山）。（クラス別指導なし）1/21

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、『一般常識チェック&マスター』（実教出版）（どちらも前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の留意点・ルール

積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題4は履歴書の下書きとし、課題5と6は、数回のキャリア講演会の内2回の感想文の提出とする。課題提出の〆切はクラス指導の場で示す。

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（英語） Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	講義	必修（ ）		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(秋山)。コミュニケーション能力を伸ばす①(小竹ト)。(フィールド指導なし) 10/1			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす②(大熊)。夏休みの宿題【課題1～3】の回収。(フィールド指導30分) 10/8			
第3回目	マイナビ登録と活用法：WEB登録・説明会等のエントリーの説明(学生支援委員)。(フィールド指導なし) 10/15			
第4回目	マイナビSPIの受験：SPI受験・クラス指導(学生支援委員)。(フィールド指導45分) 10/22			
第5回目	企業や様々な組織の理解(國分)。(フィールド指導30分) 10/29			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方、2年生の就職活動体験談(伊藤・キャリア教育委員)。(フィールド指導なし) 11/5			

第7回目	履歴書の書き方・面接試験の受け方、2年生の就職活動体験談（古川・キャリア教育委員）。【課題4】履歴書の下書き。 （フィールド指導なし） 11/12	
第8回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会①。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （フィールド指導なし） 11/19	
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会②。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （フィールド指導なし） 11/26	
第10回目	業界研究：キャリア講演会①・②の討論会。【課題5】「講演会を聴いて」 （フィールド指導90分：うち討論会50分、課題執筆40分）。 12/3	
第11回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会③。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） （フィールド指導なし） 12/10	
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会④。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課） 【課題6】「講演会を聴いて」（提出1/7）（フィールド指導なし） 12/17	
第13回目	ビジネス・マナー（立川）。※スーツを着用。※栄養フィールドと合同。（フィールド指導なし） 1/7	
第14回目	小論文・作文対策（大室）。（フィールド指導なし）【課題7】担当教員が用意し、指示する。 1/14	
第15回目	まとめ：今までの振り返りと今後へ向けて・春休みの課題（学長・秋山）（フィールド指導なし） 1/21	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、『一般常識チェック&マスター』（実教出版）（どちらも前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。レポート課題4は履歴書の下書きとし、課題5と6は、数回のキャリア講演会の内2回の感想文の提出とする。課題提出の〆切はクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (栄養) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、コミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のためのスキルを高める。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会を行う。				
学習の成果 (学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(秋山)。コミュニケーション能力を伸ばす①(小竹ト)。(クラス別指導なし) 10/1			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす②(大熊)。 夏休みの宿題【課題1～3】の回収(クラス別指導30分) 10/8			
第3回目	マイナビ登録と活用法(情報系教員・学生支援委員)。(クラス別指導なし) 10/15			
第4回目	マイナビSPIの受験(情報系教員・学生支援委員)。 (クラス別指導45分) 10/22			
第5回目	業界研究; 栄養士関連企業の人事担当者によるキャリア講演会①(司会; フィールド主任)。(クラス別指導なし) 10/29			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方(伊藤)、内定した2年生の体験談。(クラス別指導なし) 11/5			

第7回目	履歴書の書き方・面接試験の受け方（古川・キャリア教育委員）、内定した2年生の体験談。【課題4】履歴書の下書き。（クラス別指導なし） 11/12	
第8回目	業界研究；企業等の人事担当者によるキャリア講演会②（司会；フィールド主任）。（クラス別指導なし） 11/19	
第9回目	業界研究；前回のキャリア講演会の反省会・討論会①。【課題5】（クラス別指導90分） 11/26	
第10回目	業界研究；キャリア・モデル学習—卒業生等によるキャリア講演会③（司会；フィールド主任）。（クラス別指導なし） 12/3	
第11回目	業界研究；キャリア・モデル学習—前回のキャリア講演会の反省会・討論会②。【課題6】（クラス別指導90分） 12/10	
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習—卒業生等によるキャリア講演会④（司会；フィールド主任）。（クラス別指導なし） 12/17	
第13回目	ビジネス・マナー（立川）。※スーツを着用。※英語フィールドと合同。（クラス別指導なし） 1/7	
第14回目	小論文・作文対策（大室）。【課題7】（クラス別指導なし） 1/14	
第15回目	まとめ：今までの振り返りと今後へ向けて・春休みの宿題（学長・秋山）。（クラス別指導なし） 1/22	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、『一般常識チェック&マスター』（実教出版）（どちらも前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題4は履歴書の下書きとし、課題5と6は、数回のキャリア講演会の内2回の感想文の提出とする。課題の提出については一週間後とする。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ（社会福祉） Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修（ ）		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(秋山)。コミュニケーション能力を伸ばす①(小竹ト)。(フィールド指導なし) 10/1			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす②(大熊)。 夏休みの宿題【課題1～3】の回収(フィールド指導30分) 10/8			
第3回目	学生との面談(進路等)①。(フィールド指導90分) 10/15			
第4回目	学生との面談(進路等)②。(フィールド指導90分) 10/22			
第5回目	企業や様々な組織の理解(國分)。 (フィールド指導30分) 10/29			
第6回目	業界研究：卒業生によるキャリア講演会①—施設職員(司会:大熊)。※介護福祉フィールドと合同 【課題4】 11/5			

第7回目	フィールド別ガイダンス：社会福祉の職業と倫理（大熊・中島）。【課題5】「社会福祉の職業倫理について」11/12	
第8回目	業界研究：卒業生によるキャリア講演会②—本学教員（司会：大熊）。※介護福祉フィールドと合同 【課題6】11/19	
第9回目	フィールド別ガイダンス：専門職に就くために準備すべきこと（大熊・中島）。11/26	
第10回目	フィールド別ガイダンス：専門試験対策（大熊・中島）。12/3	
第11回目	フィールド別ガイダンス：就職内定者の体験談。12/10	
第12回目	キャリア形成と働く意味（小竹ト）。 （フィールド指導50分）12/17	
第13回目	面接対策（長江）。 （フィールド指導30分）1/7	
第14回目	小論文・作文対策（大室）。【課題7】（クラス別指導なし）1/14	
第15回目	まとめ：今までの振り返りと今後へ向けて・春休みの課題（学長・秋山）（クラス別指導なし）1/21	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、『一般常識チェック&マスター』（実教出版）（どちらも前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。課題の提出〆切はフィールド別指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (介護福祉) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果 (学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(秋山)。コミュニケーション能力を伸ばす①(小竹ト)。(クラス別指導なし) 10/1			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす(大熊)。 夏休みの宿題【課題1～3】の回収(クラス別指導30分) 10/8			
第3回目	学生との面談(進路等)①(クラス別指導90分) 10/15			
第4回目	学生との面談(進路等)②(クラス別指導90分) 10/22			
第5回目	企業や様々な組織の理解(國分)。 (クラス別指導30分) 10/29			
第6回目	業界研究:卒業生によるキャリア講演会①—施設職員(司会:大熊)。※社会福祉フィールドと合同 【課題4】 11/5			

第7回目	フィールド別ガイダンス：高齢者への楽しみの支援—発表と討議。11/12
第8回目	業界研究：卒業生である本学教員によるキャリア講演会②（司会:大熊）。※社会福祉フィールドと合同【課題5】11/19
第9回目	フィールド別ガイダンス：就職内定者の体験談。11/26
第10回目	フィールド別ガイダンス：高齢者の生活背景を考える学習①—発表と討議。12/3
第11回目	フィールド別ガイダンス：高齢者の生活背景を考える学習②—発表と討議。【課題6】12/10
第12回目	キャリア形成と働く意味（小竹ト）。（クラス別指導50分）12/17
第13回目	面接対策（長江）。（クラス別指導30分）1/7
第14回目	小論文・作文対策（大室）。（クラス別指導なし）【課題7】1/14
第15回目	まとめ：今までの振り返りと今後へ向けて・春休みの課題（学長・秋山）（クラス別指導なし）1/21

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、『一般常識チェック&マスター』（実教出版）（どちらも前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の留意点・ルール

積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取る。課題の提出〆切はクラス指導の場で示す。

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ(児童) Career Education Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特に担任	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果(学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(秋山)。コミュニケーション能力を伸ばす①(小竹ト)。(クラス別指導なし) 10/1			
第2回目	コミュニケーション能力を伸ばす②(大熊)。 夏休みの宿題【課題1～3】の回収(クラス別指導30分) 10/8			
第3回目	業界研究；キャリア講演会①—卒業生3名(司会：1年担任)。 【課題4：提出10/29】(クラス別指導なし) 10/15			
第4回目	業界研究；人事担当者によるキャリア講演会②—幼稚園園長と児童養護施設施設長(司会：1年担任)。 【課題5：提出10/29】(クラス別指導なし) 10/22			
第5回目	フィールド別ガイダンス：実習に臨んでの課題を明確にする、幼稚園実習巡回指導担当者別指導。(クラス別指導なし) 10/29			
第6回目	フィールド別ガイダンス：教育実習オリエンテーション(司会：1年担任)、幼稚園実習巡回指導担当者別指導。 (クラス別指導なし) 11/5			

第7回目	フィールド別ガイダンス：保育実習オリエンテーション（司会：1年担任）、保育園実習巡回指導担当者別指導。 （クラス別指導なし） ※教育実習中のため1月下旬以降に補講。	
第8回目	フィールド別ガイダンス：教育実習反省会等。（クラス別指導45分、実習担当者別指導45分） 11/19	
第9回目	業界研究；キャリア講演会③（松崎・保育担当教員）、業界研究討論会。 【課題6：提出12/3】（クラス別指導なし） 11/26	
第10回目	フィールド別ガイダンス：専門職に就くために準備すべきこと（松崎）。 （クラス別指導30分） 12/3	
第11回目	フィールド別ガイダンス：試験（公務員試験等）対策・適性検査への準備（大塚・秋山）。（クラス別指導なし） 12/10	
第12回目	キャリア形成と働く意味（小竹ト）。 フィールド別ガイダンス：2年生就職内定者の講話。（クラス別指導なし） 12/17	
第13回目	面接対策（長江）。 （クラス別指導30分） 1/7	
第14回目	小論文・作文対策（大室）。【課題7：提出1/22】（クラス別指導なし） 1/14	
第15回目	まとめ：今までの振り返りと今後へ向けて・春休みの宿題（学長・秋山）。（クラス別指導なし） 1/22	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房）、『一般常識チェック&マスター』（実教出版）（どちらも前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。		